

能登半島地震からの教訓

玄海原発は廃炉に



玄海原発

(1面のつづき) 自己負担)となっています。松浦市長は、青島診療所の者医療保険の被保険者でない島民、または、島民でない方々は、10割負担(全額分の責任を取り、2024

年1月から3月まで自身の給与を50%カットすることとしました。島民の皆さんが今まで通

りの医療サービスが再び受けられるように、青島診療所の保険医療機関の再指定が早急に望まれます。

避」と方向が変わった理由を、冊子の「はじめに」で次のように書かれています。

2011年(平成23年)3月の東京電力福島第一原子力発電所事故が発生した際、高齢者や傷病者等の要配慮者の中には無理な避難行動により亡くなられた方がおられました。このことを教訓の一つとして、避難よりも屋内退避を優先することが必要な場合があること、放出源から比較的離れた区域ではまず屋内退避を実施する事等が、原子力規制委員会が策定する原子力災害対策指針に取り入れられました。

無理な避難行動で亡くなられたのではなく、避難計画がずさんだったのではありませんか。福島第一原発事故は今なお続いており、事故収束の見通しも立っていません。

玄海原発は廃炉しかありません。

元日に発生した能登半島地震で亡くなられた方々にお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。

今回発生した地震では、海岸線が最大4メートルも隆起するなど、これまでの知見を覆すような規模・内容となりました。

この地震により志賀原発では、原子炉を冷却する外部電源から電力を受ける変圧器が破損するなど、重大なトラブルが相次ぎました。しかも原発再稼働の前提となる避難計画は地震・津波災害に対応できないことが明らかになりました。避難計画にある道路は破損、土砂崩れが多発し、集落は孤立状態になりました。避難計画どおりには逃げられませんか。

翻って、玄海原発で地震が起きた場合はどうなるでしょうか。

松浦市鷹島町が玄海原発から8・3キロ、松浦市全域が30キロ圏内です。避難計画では「屋内退避」となっ

また、原発事故時は「すぐに逃げる」から「屋内退